

Cutting Edge Report 2008 Vol.1

Chiba Dirt Trial & Freshman Series

CDFS Rd.4

2008年千葉県ダートトライアル & フレッシュマンシリーズ第4戦
JMRC 関東ダートトライアル交流戦第5戦

RAINBOW PRIDE SLALOM 2008

開催日: 2008年6月1日(日)
コース: オートランド千葉第1コース
主催: RBAC (RAINBOW AUTO CLUB)
天候: 晴れ
コンディション: ウェット & ドライ
参加台数: 71台 (出走65台)



激戦 A3 を制した川島、2連勝!!

A3

タイムアップの連続となった A3 クラスを制したのは今年絶好調の川島。一本目は細谷、実川、宮本の順に終わり、2本目もまるで約束されたように、そのままの順位でタイムアップが繰り広げられた。しかし、1本目は8位と低迷していた最終号車の川島が、2本目に会心の走りで逆転した。

晴天の下、オートランド千葉に集まった65台のダートラ車は、静かにそのスタートを待つ。



千葉県ダートラも3戦を消化し前半最後のイベントとなるRAINBOW PRIDESLALOM。

前日まで降り続いた雨でコースコンディションが心配されたが、イベント当日は快晴。始まる前から2本目勝負は確実だった。

コースのほうは、最近の千葉県戦では見ない変則的なレイアウト。

バンクと呼ばれるコーナーには水がたまっていたため使用できず、1コーナーと呼ばれながらも1コーナーとしてはほぼ使われない左コーナーに、まっすぐ飛び込んでいく珍しい設定。

そして、ウェット状態の1本目では2分近辺のタイムという、こちらも最近では見ない長いコースになっていた。

この長いコースに泣いたのが、Lクラスの「おかん」こと坪井。「コースが長すぎてつらい」と泣きが入り3位に終わった。

優勝は遠藤。2位は瞬。今年の坪井、遠藤の争いは、2勝づつとほぼ対等。

目の上のたんこぶだった赤松がA2に移ったが、好敵手は尽きず。シリーズを取るのには案ではなさそうだ。

フレッシュマン2WDクラス。現在シリーズ上位3人の小島、山下、飯島はいずれも低迷し、山下が3位に入るのがやっとという荒れ模様。

1、2戦をパスした南之園、飯泉が1、2位となり、今後のシリーズの行方は不透明。

フレッシュマン4WDクラス。第2戦から3位、2位と順位を上げてきた

海老原が、ストーリーアでランサー、インプレッサを相手についに表彰台の中央に立つ。もちろんポイントリーダーである。

しかし、今後は第3戦で優勝した海老原の所属するチームのリバーサイドの長老、丸山が簡単にチャンピオンは取らせないとエントリーを表明している。

海老原は足が不自由で、普段は車椅子のドライバー。そのため、彼のストーリーアは、手動操縦装置付きで、クラッチ、ブレーキ、アクセルの操作は左手で行う。

A1クラスは、ポイントリーダーの中嶋理沙が主催のため欠席。しかし全日本選手でもある夫の中嶋ケンタローが援護射撃のためかエントリー。スリッパリーな路面に愚痴をこぼしながらも、堂々の優勝。しかし、ポイントリーダーの座まで妻から奪ってしまった。

最激戦区のA2クラスでは、去年のC地区チャンプの八木が欠席。

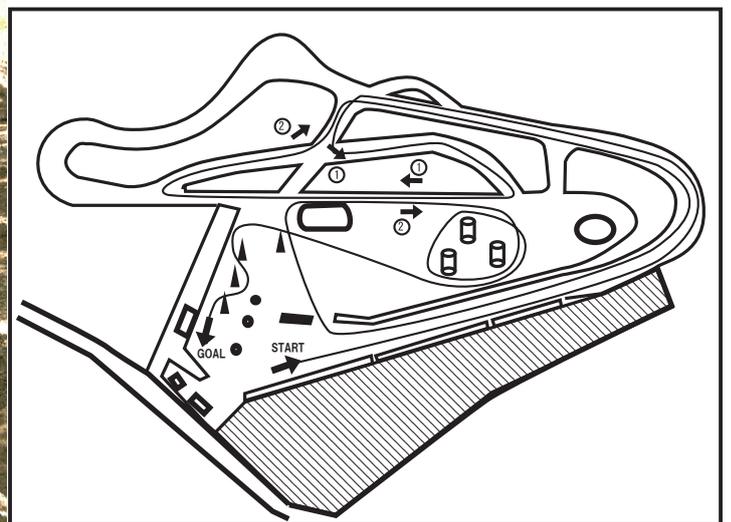
元全日本ラードライバー北田が1本目2位で台風の目になるかと思われたが、マシントラブルのため2本目出走できず低迷。

そして、岩澤、平澤が夫婦でワンツーを決める。岩澤は出れば勝つの3勝でシリーズをリード。そして、シリーズ2位の遠山は7位に終わる。

平澤も、トータルポイントこそ3位だが、ポイントを得ているのは2戦のみ。有効ポイントを考えると、まだまだ



遠藤は交流戦にもエントリー。千葉とともに着実にポイントを稼ぐ。



FR

菅野はリア駆動だけでなく 2WD でも最速



シリーズ争いには出遅れたが、これから追い上げか。フレッシュマン 2WD 優勝は南之園

4WD



2WD



手動装置のハンデをものともせず、フレッシュマン 4WD クラス優勝の海老原



望みが無いわけではない。

FRクラスのシリーズリーダーの小川は、1本目前半で車両トラブルのためリタイヤ。小川のSW20はシリーズ3位の山野とダブルエントリーのため、2人の2本目がどうなるかと思われたが、無事出走。しかし、菅野がA1、A2を上回る1分45秒台という驚異的なタイムを叩き出す。もちろん、2WD最速である。

菅野は15点差のシリーズ2位。捨てポイントもあるので、小川との差はほぼ無いといっても良い状況だ。

A3クラスでは、ラスト3台でギャラリーをうならせる激戦が繰り広げられた。

まず、やっと年齢相応に？抑えることを覚えた実川がそれまでのベストを2秒上回る1分39秒をマーク。これで決まりかと思われたが、その後の細谷が1秒以上速くゴール。さらに川島がコンマ7秒タイムを更新。

川島は前戦に続いての2連勝を決めた。

プレイドライブ

始めました



TRS
KOMATSU
CAR SERVICE

私ども特约店にて好評発売中

A1



全日本選手の中嶋ケンタローは本番車を持ち込み、弱いものいじめ？

CD1クラスでは、毎戦繰り広げられる小島対宮川の争い。その差は決して大きくは無いものの、爆音サニーを駆る小島が一步リード。シリーズも徐々にリードを広げていく展開になっている。CD2クラスは、常連であったVanBanチームが車両を売却したこともあって、坪井亮介の横綱相撲となっている。T08と亮介の腕を持ってすれば敵はいないのだろうか。

今回併設された関東交流戦も、シリーズ5戦目と折り返しポイントを迎えた。こちらはやはりシリーズを追って転戦している選手が、着実にポイントを稼いでいる。とは言っても、まだまだ本気で追いかければ十分間に合う状態。是非、戦の醍醐味も味わってほしい。

Closed



今回のイベントでライセンス申請の伊藤表彰式もちゃんと出ましょう…

A2



出れば勝つ岩澤!!
連勝を止めるのは誰だ？

CD2



もはや敵無し？ CD2は坪井亮介。
しかし、オーバーオールはA3の川島に奪われる。

CD1



次戦は主催のため、貴重なポイントを稼いだ小島サニー。

激戦の続く千葉県シリーズ、次戦は7月20日EMF主催の「'08 レッツダートトライアル」、場所はもちろんオートランド千葉。

DCCS全日本ダートラ、RALLY HOKKAIDOと続く後のため、ほぼ確実にAL千葉には行けませんので、コレは出ません。というかVol.2が出るかも不明です。Vol.1がウケれば出ます(笑)

交流戦もよろしくね

カラーレーザープリンターを提供して(使わせて)くれるスポンサー募集中です…

Cutting Edge Report 2008 Vol.1 2008年6月10日発行 発行人 山岸典将
カッティングエッジ <http://rally.jp/> nor@rally.or.jp 定価零円